

第4回 グループホーム北陽運営推進会議

日時：令和6年10月17日(木) 14:00～

場所：グループホーム北陽 2F ホール

参加者：

出雲市役所 高齢者福祉課	1名
川跡コミュニティーセンター	0名
鳶巣コミュニティーセンター	0名
協力医療機関 園山医院	1名
ご家族様	0名
グループホーム北陽	2名
ご利用者様	1名

※第4回はご案内させていただいた方が急遽欠席となっております。

〈協議事項〉

(1) 施設運営の状況報告

・現在1階8名、2階8名、計15名がご入居されております。平均介護度は1階2.7→2.6、2階2.8→2.4。待機者は12名いらっしゃいますが、新規職員採用に合わせて、随時ご案内させていただく予定です。職員体制としては整って参りました。

ご家族様が様々な思いを持ち、相談にいらっしゃる事が多くあります。この後の事例でもありますが、ご家族様が一生懸命頑張って在宅でみておられたからこそ今があると思っています。相談の案件は、いろんな気持ちが溢れ涙されることも多くあります。「入居」ということについてとても大切なその方の暮らしとなると考えますので、ご本人にとってもご家族にとっても1番いい状態ができるよう、一緒に考え、しっかりと考えて頂くようにしています。

・行事について

実施	8月	調理レク
	9月	敬老会、看護実習生受け入れ

- ・日頃の話題より、お盆が近づくと、昔の様子を聞かせてくださることもあり、お墓の掃除やお墓参り、誰かをもてなしていたことなどの会話が弾みました。施設で出来る事を考えると、利用者と相談し、巻きずしやおいなりさんをたくさん作って皆で頂きました。昔はよくたいそたいそ作っていたなと、昔を思い出しながら皆で取り組まれました。認知症状により手順が不十分なこともあります、何気なフォローを行いながら、職員も教わりながら一緒に行いました。
- ・敬老会は準備が不十分ではありましたが、職員による催しを行い、衣装にて変装して行いましたが(演歌・オヨネーズ等)馴染みの職員の催しを見て、一緒に歌われたり盛り上げて下さったり、楽しんでおられる様子でした。記念品は、どなたでも持ちやすい日常で使えるコップと、認知症の見当識障害にて日付が分かり難いことより、大きな数字で書かれたカレンダーとしました。各居室に貼り、過ぎた日付をチェックしていくなど一緒に行っていこうと思います。
- ・10月の予定としていた準備もあるため、11月の行事～秋の味覚～と入れ替えて行おうと思います。予定としては、炊き込みご飯と豚汁作りを行おうと考えています。

・研修について

実施	8 月	・生活場面(食事・入浴・排泄)ごとの生活障害の理解とケア
	9 月	・中核症状、行動・心理症状のおさらい

・研修、カンファレンスは日頃から密に行っています。また一人一人が振り返り考えられるような研修や、現場での事例を基に勉強会を行っておりますが、なかなか理解しきれない、また理解できていても実践できないことも多くあり、繰り返し認知症の基本の部分の勉強会を行っています。職員の現場経験や知識の習得は人によって様々であることから、おさらいも兼繰り返し皆で勉強しています。経験が全てではないので職員の経験の幅も1~20年以上とある中、皆で深めていくことを目的としています。現場でうまくいくこと、いかないこと、難しいことなどを個別で指導することもあります。その中で、入浴拒否、食事などのことで困っていること、その困りごとがすぐに結果に出ず遠回りをしたとしても、分析を行いながらどうすれば良いかを考えています。

・事例(別紙参照)

(2) 意見交換

❖出雲市高齢者福祉課

Q : 運動会は具体的にどんなことをされる予定ですか？

A : 日頃のアクティビティを取り入れ、普段からやっていること(風船バレーや玉入れなど)を行おうと思っています。職員が皆さんにお弁当を作って皆で一緒に食べたいと思います。

Q : どこかへ外出等されますか？

軽自動車しかないの、出掛ける際は午前・午後で出掛けたり、何日か外出の日を設けて出掛けます。

❖協力医療機関

Q : 事例について ADL の回復がすごいと感じました。食事について、食事形態はどうされていますか？

A : 配食サービスで届いた物を施設でミキサー食にしています。

入居当初ほとんど食べることが出来ず、エンシュアやプリン、ゼリーを食べれる時に食べれる量摂取されてきました。口に溜めて飲み込むことをされなかったですが、マッサージや関りで嚥下も今ではスムーズです。ご家族もミキサー食ではなく、通常の食事形態への希望をお持ちですが、現状は主治医からミキサー食での形態でという指示を受けています。

Q : 本人は他者と同じものを食べたいと言うことはないですか？

A : 特に普通食へのこだわりはないように思います。皆さんと同じ量をミキサーにかけていますが、もうちょっとちょうだいと言われ、補食(プリンやゼリー)も含めしっかりと食事を摂っていらっしゃいます。

Q : 皆さん食事にかかる時間はどれくらいですか？

A : 皆さんとても速いです。ゆっくりよく噛んで食べて頂くよう声掛けを行っていますが、長い方でも20分程度完食です。

Q : カンファレンスは誰がどういった形で行っていますか？

A : 昼などにその日出勤時の職員で行う事が多いです。その日出勤していない職員にも記録、報告等で周知しています。現場で気になることやその方にとっての困りごとを話し合い考えるようにしていますが、カンファレンスの視点が職員主体となっているため、その方にとってのつまづきを取り除ける様に、認知症の理解を深めていきたいと思っています。

❖川跡コミュニティセンター

Q : 2Fは女性が多いですね。

A :特に分けたわけでも、選んだわけでもないのですが、たまたま女性の方が多かったです。

Q :たくさん日頃より写真を撮っておられますが、何に利用されますか？

A : 一人一人の利用者さんの笑顔や「こんなことしましたよ」と言うことなどを、毎月ご家族にお手紙を添え写真で郵送しています。また誕生会などの写真にも用いさせて頂いています。また見当識障害の方の居室目印となるよう、居室のドアに貼ることもあります。

Q : 一人一人のいい表情がとても良いので、カレンダーにしてはどうでしょう。この時こんなことをしたと分かると思います。

A : 素敵なアイデアなので今後の参考にさせていただきます。

(3) その他

- ・10月23日、再開所初の実地指導に出雲市役所より指導に来られます。施設を多角的視点で見えていただき改善する点は改善し、より良い施設になるように努めたいと思います。

次回運営推進会議予定

令和6年12月19日(木)14:00～ 2Fホールにて